



平成22年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月9日

上場会社名 中央化学株式会社 上場取引所 JQ
 コード番号 7895 URL <http://www.chuo-kagaku.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 宇川 進
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 森本 和宣 (TEL) 048(540)2624
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第2四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第2四半期	30,268	△18.7	1,122	△26.3	815	△45.3	986	—
21年12月期第2四半期	37,215	△9.5	1,524	—	1,492	—	△846	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第2四半期	48 95	— —
21年12月期第2四半期	△47 98	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第2四半期	49,511	11,435	23.1	567 57
21年12月期	52,958	10,470	19.8	519 65

(参考)自己資本 22年12月期第2四半期 11,435百万円 21年12月期 10,470百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	— —	— —	— —	0 00	0 00
22年12月期	— —	0 00	— —	— —	— —
22年12月期(予想)	— —	— —	— —	0 00	0 00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	65,800	△12.9	2,900	△29.2	2,200	△27.1	1,700	—	84 37	

(注)当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他 (詳細は、【添付資料】P. 4「その他の情報」をご覧ください。)

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 有

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

22年12月期2Q	21,040,000株	21年12月期	21,040,000株
22年12月期2Q	890,902株	21年12月期	890,832株
22年12月期2Q	20,149,138株	21年12月期2Q	17,649,168株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注意事項)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第2四半期連結累計期間】	7
【第2四半期連結会計期間】	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	14

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。
 ・平成22年8月27日（金）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国及び新興国向け輸出の回復やエコポイントなどの政策支援の恩恵を受けた業種で景気に一部持ち直しの動きが見られるものの、南欧の財政混乱による金融危機や国内の民間設備投資・雇用低迷の影響が懸念されるなど、先行きに不透明な状況が続いております。このような状況の中、当社グループにおける国内では、食品包装容器メーカーの原点ともいえるべき、“安心して安全な製品を市場に提供していくための体制”強化に取り組んでまいりました。また、昨年に引き続き、製品の軽量化による原材料費削減や物流費の削減を推進してまいりましたが、消費者の節約志向が食料品にも波及している影響等から、当第2四半期累計期間における単体業績は、売上高27,955百万円（前年同期比4.7%減）、営業利益898百万円（前年同期比23.4%減）、経常利益682百万円（前年同期比33.6%減）、四半期純利益746百万円（前年同期△1,237百万円）となりました。

アジアは、内外の景気に支えられて回復を強めており、特に中国ではインフラ整備などの国内政策に支えられGDPも二桁成長を維持し、個人消費も底堅い状態にあります。このような状況の中、中国子会社の業績は、業績不振であった重慶中央化学の清算や他の公司における収益改善などにより、昨年の営業赤字から当第2四半期連結累計期間では営業黒字へと転換いたしました。

また、米国は連結子会社であったC&M FINE PACK, INC. が平成21年11月に同社全株式を譲渡したことにより、連結対象外になっております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高が30,268百万円（前年同期比18.7%減）となり、営業利益では1,122百万円（前年同期比26.3%減）、経常利益では為替差益幅の減少により815百万円（前年同期比45.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産は、受取手形及び売掛金の減少1,661百万円や現金及び預金の減少1,521百万円等により、前連結会計年度末と比べ3,447百万円減少し49,511百万円となりました。

(負債)

負債は、支払手形及び買掛金が1,686百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ4,412百万円減少し38,075百万円となりました。

(純資産)

純資産は、四半期純利益986百万円等により、前連結会計年度末に比べ965百万円増加し11,435百万円となり、自己資本比率は23.1%となりました。

これにより1株当たり純資産額は567円57銭となり、前連結会計年度末に比べ47円92銭増加いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は5,901百万円（前年同四半期末残高2,680百万円）であり、前連結会計年度末に比べ1,521百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、485百万円（前年同四半期末は3,657百万円の増加）となりました。これは売上債権の減少1,833百万円や減価償却費1,302百万円があった一方、仕入債務の減少1,566百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、699百万円（前年同四半期末は208百万円の減少）となりました。これは、固定資産の売却収入129百万円があった一方、固定資

産の取得802百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、1,187百万円(前年同四半期末は3,072百万円の減少)となりました。これは、短期借入金の減少507百万円やリース債務の減少489百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、国内での食料品需要の低迷により、食品包装容器の販売環境が厳しい状況にありますが、「価値創造」をテーマとして、大阪・札幌・名古屋・仙台・東京・福岡の各地で開催致します地域商談会での販売促進活動等を最大限に活かし、通期での連結売上高658億円、営業利益29億円、経常利益22億円、当期純利益17億円を見込んでおります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

表示方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

当第2四半期連結累計期間において、営業外収益の「雑収入」と「その他」として掲記されていたものは、「その他」に統一して表示しております。なお、前第2四半期連結累計期間の「雑収入」は77,341千円であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,901,286	7,422,286
受取手形及び売掛金	10,300,025	11,961,329
商品及び製品	6,397,578	6,051,188
仕掛品	685,696	693,998
原材料及び貯蔵品	1,240,467	1,148,485
繰延税金資産	176,572	276,532
その他	1,430,977	1,607,944
貸倒引当金	△58,704	△193,188
流動資産合計	26,073,899	28,968,576
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,927,948	7,088,088
機械装置及び運搬具(純額)	3,738,887	3,917,987
土地	4,913,042	4,912,851
リース資産(純額)	2,477,389	2,905,911
建設仮勘定	281,199	144,613
その他(純額)	1,134,741	1,069,861
有形固定資産合計	19,473,209	20,039,313
無形固定資産		
リース資産	36,294	45,310
その他	386,261	405,044
無形固定資産合計	422,556	450,354
投資その他の資産		
投資有価証券	339,469	307,230
長期貸付金	210,212	229,176
破産更生債権等	10,000,969	10,163,596
繰延税金資産	1,864,527	1,762,630
その他	346,630	336,990
貸倒引当金	△9,220,009	△9,299,083
投資その他の資産合計	3,541,800	3,500,540
固定資産合計	23,437,566	23,990,208
資産合計	49,511,466	52,958,785

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,559,131	13,245,522
短期借入金	17,827,609	18,293,406
リース債務	813,838	967,398
未払金	2,028,063	2,678,769
未払法人税等	72,119	196,264
未払消費税等	30,332	489,039
繰延税金負債	4,253	4,490
海外事業等再編引当金	574,106	657,885
その他	835,412	1,069,966
流動負債合計	33,744,867	37,602,743
固定負債		
長期借入金	1,329,120	1,600,780
リース債務	1,831,475	2,115,672
繰延税金負債	9,408	9,615
退職給付引当金	482,993	435,100
役員退職慰労引当金	28,840	88,050
債務保証損失引当金	490,000	440,000
その他	158,823	196,360
固定負債合計	4,330,662	4,885,578
負債合計	38,075,529	42,488,321
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,212,750	6,212,750
資本剰余金	5,787,143	8,259,959
利益剰余金	1,110,183	△2,349,018
自己株式	△1,169,214	△1,169,190
株主資本合計	11,940,861	10,954,499
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△8,095	△5,615
繰延ヘッジ損益	△8,482	△3,108
為替換算調整勘定	△488,346	△475,311
評価・換算差額等合計	△504,924	△484,035
純資産合計	11,435,937	10,470,464
負債純資産合計	49,511,466	52,958,785

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
売上高	37,215,256	30,268,249
売上原価	28,098,020	23,388,319
売上総利益	9,117,236	6,879,929
販売費及び一般管理費	7,593,004	5,757,043
営業利益	1,524,231	1,122,886
営業外収益		
受取利息	6,790	3,544
受取配当金	8,906	7,378
為替差益	320,344	—
その他	112,792	161,040
営業外収益合計	448,834	171,963
営業外費用		
支払利息	322,756	235,280
手形売却損	48,941	25,233
売上割引	51,795	47,561
為替差損	—	96,360
その他	57,090	74,423
営業外費用合計	480,583	478,858
経常利益	1,492,482	815,991
特別利益		
前期損益修正益	57,736	50,164
固定資産売却益	—	125,111
投資有価証券売却益	321,450	—
貸倒引当金戻入額	11,300	137,185
役員退職慰労引当金戻入額	259,940	—
その他	472	1,771
特別利益合計	650,899	314,232
特別損失		
前期損益修正損	6,184	—
固定資産除売却損	11,556	30,831
減損損失	26,485	—
投資有価証券評価損	2,980	99
投資有価証券売却損	300	—
関係会社出資金評価損	22,000	—
海外事業等再編費用	819,702	—
早期割増退職金	4,924	—
債務保証損失引当金繰入額	640,000	50,000
貸倒引当金繰入額	850,000	—
リース会計基準の適用に伴う影響額	101,307	—
たな卸資産評価損	210,324	—
その他	0	18,961
特別損失合計	2,695,767	99,893
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△552,385	1,030,330

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
法人税、住民税及び事業税	137,774	42,677
法人税等調整額	145,313	1,267
法人税等合計	283,088	43,944
損失負担契約に基づく当社及び連結子会社以外の者 への振替額	13,400	—
少数株主利益	24,696	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△846,769	986,385

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	19,702,231	16,123,674
売上原価	14,326,482	12,383,618
売上総利益	5,375,748	3,740,056
販売費及び一般管理費	3,868,334	2,947,735
営業利益	1,507,414	792,321
営業外収益		
受取利息	6,507	1,688
受取配当金	8,678	3,740
その他	30,685	91,772
営業外収益合計	45,871	97,201
営業外費用		
支払利息	168,322	117,348
手形売却損	22,474	12,461
売上割引	25,442	23,262
為替差損	103,052	139,071
その他	29,470	63,917
営業外費用合計	348,762	356,061
経常利益	1,204,523	533,461
特別利益		
固定資産売却益	—	124,355
投資有価証券売却益	321,450	—
貸倒引当金戻入額	800	177,801
その他	1,503	1,725
特別利益合計	323,753	303,881
特別損失		
前期損益修正損	866	—
固定資産除売却損	11,439	21,145
減損損失	26,485	—
投資有価証券評価損	—	△946
関係会社出資金評価損	22,000	—
海外事業等再編費用	819,702	—
債務保証損失引当金繰入額	640,000	—
その他	0	12,280
特別損失合計	1,520,494	32,479
税金等調整前四半期純利益	7,782	804,864
法人税、住民税及び事業税	149,943	30,272
法人税等調整額	157,366	△6,387
法人税等合計	307,310	23,884
損失負担契約に基づく当社及び連結子会社以外の者への振替額	699	—
少数株主利益	27,004	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△325,833	780,979

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△552,385	1,030,330
減価償却費	1,575,157	1,302,421
減損損失	26,485	—
海外事業等再編費用	819,702	—
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	640,000	50,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,099,369	△195,304
退職給付引当金の増減額(△は減少)	61,462	47,893
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△270,860	△59,210
受取利息及び受取配当金	△15,696	△10,922
支払利息	322,756	235,280
為替差損益(△は益)	△46,471	5,423
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△318,169	99
関係会社出資金評価損	22,000	—
有形固定資産除却損	11,556	30,831
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△125,111
役員退職慰労金	17,860	65,790
売上債権の増減額(△は増加)	4,503,800	1,833,365
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,118,636	△475,257
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,121,866	△1,566,846
未払消費税等の増減額(△は減少)	158,809	△456,576
その他	93,886	△800,698
小計	4,146,032	911,509
利息及び配当金の受取額	14,635	10,369
利息の支払額	△327,461	△248,138
役員退職慰労金の支払額	△17,860	△65,790
法人税等の支払額	△157,389	△122,275
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,657,957	485,674
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△727,381	△802,912
固定資産の売却による収入	80,190	129,200
投資有価証券の取得による支出	△32,946	△34,819
投資有価証券の売却による収入	397,550	—
貸付けによる支出	△6,725	—
貸付金の回収による収入	4,600	5,400
その他	75,892	3,156
投資活動によるキャッシュ・フロー	△208,821	△699,974

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,837,330	△507,428
長期借入金の返済による支出	△478,499	△190,860
リース債務の返済による支出	△756,813	△489,176
自己株式の取得による支出	—	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,072,643	△1,187,488
現金及び現金同等物に係る換算差額	51,641	△119,211
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	428,134	△1,521,000
現金及び現金同等物の期首残高	2,252,843	7,422,286
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,680,977	5,901,286

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日）

「合成樹脂簡易食品容器及び関連商・製品製造販売事業」のみの単一事業のため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日）

「合成樹脂簡易食品容器及び関連商・製品製造販売事業」のみの単一事業のため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日）

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)					
	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	29,443,871	5,583,399	2,187,985	37,215,256	—	37,215,256
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	113,458	660	804,854	918,972	(918,972)	—
計	29,557,329	5,584,059	2,992,840	38,134,229	(918,972)	37,215,256
営業利益又は 営業損失(△)	1,513,283	257,370	△47,401	1,723,252	(199,020)	1,524,231

(注) 1 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

(2) 日本以外の区分に属する主な国又は地域

① 北米・・・アメリカ

② アジア・・・中国

2 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する基準)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載の通り当連結会計年度の第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 企業会計基準委員会 平成18年7月5日公表分)を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて当第2四半期連結累計期間の営業損益は日本で営業利益が45,817千円増加し、アジアで営業損失が3,600千円増加しております。

(リース取引に関する基準)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載の通り当連結会計年度の第1四半期連結会計期間より、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて当第2四半期連結累計期間の営業利益は日本で61,830千円増加しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)					
	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	28,105,297	—	2,162,951	30,268,249	—	30,268,249
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	53,824	—	579,720	633,545	(633,545)	—
計	28,159,122	—	2,742,672	30,901,794	(633,545)	30,268,249
営業利益又は 営業損失(△)	1,170,992	△11,928	163,383	1,322,447	(199,560)	1,122,886

- (注) 1. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。
2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域
- ① 北米・・・アメリカ
- ② アジア・・・中国
3. 従来、北米セグメントに含まれておりましたC&M Fine Pack, Inc. は、平成21年11月における同社株式の全株譲渡により、連結対象外となっております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)		
	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	5,602,827	2,708,760	8,311,588
II 連結売上高(千円)			37,215,256
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	15.0	7.3	22.3

(注) 1 海外売上高は、連結財務諸表提出会社の輸出高及び本国以外の国に所在する連結子会社の本国以外の国又は地域における売上高の合計額(ただし、連結会社間の内部売上を除く)であります。

2 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

① 北米・・・アメリカ

② その他の地域・・・中国・ヨーロッパ

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)		
	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	2,963,878	101,007	3,064,886
II 連結売上高(千円)			30,268,249
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	9.8	0.3	10.1

(注) 1 海外売上高は、連結財務諸表提出会社の輸出高及び本国以外の国に所在する連結子会社の本国以外の国又は地域における売上高の合計額(ただし、連結会社間の内部売上を除く)であります。

2 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

3 各区分に属する主な国又は地域

① アジア・・・中国

② その他の地域・・・アメリカ・ヨーロッパ

4 従来、北米セグメントに含まれておりましたC&M Fine Pack, Inc. は、平成21年11月における同社株式の全株譲渡により、連結対象外となっております。その結果、北米地域の売上高が減少したことで、「その他の地域」に含めております。なお、当第2四半期連結累計期間の「その他の地域」に含まれる北米の海外売上高は29,185千円であります。

5 従来、アジア売上は「その他の地域」に含めて表示しておりましたが、アジアの連結売上に対する売上高比率が重要性を増したため、「アジア」として区分掲記しております。なお、前第2四半期連結累計期間の「その他の地域」に含まれるアジアの海外売上高は2,624,301千円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)

当社は、平成22年2月19日開催の取締役会における資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分に関する決議に基づき、資本剰余金から利益剰余金へ2,472,815千円振替え、欠損の填補を行っております。この結果、当第2四半期連結累計期間末において、資本剰余金が2,472,815千円減少し、利益剰余金が同額増加しております。